WORDPRESS 爆速化計画

GTmetrix と Page Speed Insights

初心者も即日スコア 99 点を叩き出すノウハウ教えます

KENBO

index

はじめに 4
そもそもなぜ高速化を目指すのか？ 5
本資料が役に立つ方は・・・ 7
初心者が即日スコア 99 点を叩き出すための３つの方針 8
ワードプレス爆速化の定義とミッション 9
あなたの爆速化数値目標 9
GTmetrix 9
Page Speed Insights 10
見た目とスピードアップはトレードオフである 12
Before After 14
Before（対策前） 14
After(対策後) 16
即日でスコア 99 点を叩き出すための事前準備 19
爆速化のための「３つのファクター」を理解する 19
若干の投資でさらに簡単に安定化・高速化ができることを知る 20
スコア 99 点達成のための爆速プラン 21
作業プロセスのおおまかなイメージ 21
PC とスマホは分けて考える 24
ワードプレステーマ選定でミスらないために 26
正しいサーバーの選定と設定 28
XSERVER の爆速設定 29
PHP7.2 以上を使うべし 31
爆速化必須プラグイン 32
爆速化手順１：「画像」から片付けてみよう 34
EWWW Image Optimizer プラグイン 35
Imsanity プラグイン 38
画像は（できれば）最初からピッタリのサイズで作る 40
爆速化手順２：キャッシュプラグインを使う 42
WP fastest Cache 42
有料版 WP Fastest Cache の「設定」 46
有料版 WP Fastest Cache の「キャッシュの削除」 48

Copyrights KENBO All Rights Reserved

有料版 WP Fastest Cache の「画像の最適化」 50
有料版 WP Fastest Cache の「DB」 51
爆速化手順３：素敵な脇役たち 52
TinyPNG：画像を高品質のまま最高の圧縮率 52
Widget Logic プラグイン：表示をデバイス毎に制御 54
爆速化手順４：残すもの、捨てるものを決める 57
爆速化手順５：テーマ固有の高速化施策 58
LasyLoad SEO プラグイン 58
爆速化手順６：「もっと速く」を目指す CDN 61
CDN ってなに？ 62
CloudFlare 64
XSERVER で CloudFlare 活用時の Tips 65
CloudFlare 側の SSL 設定について 65
ダッシュボードに入れない！を解決する 66
あとがき 69
著者のご挨拶 70
筆者（KENBO）の主なコンテンツ 70
筆者（KENBO）の”異端メルマガ” 70

Copyrights KENBO All Rights Reserved

はじめに

【WORDPRESS 爆速化計画　GTmetrix と Page Speed Insights
初心者も即日スコア 99 点を叩き出すノウハウ教えます】（以下、**本資料**）
をご覧いただきありがとうございます。

本資料の著者、KENBO と申します。
著者の自己紹介＆ご挨拶は本資料の末尾に載せておりますので、
ご興味あれば、**『目標達成したあかつき』**
にでもお目通しいただければ幸いです。

さて、いきなりですがご挨拶に変えて
あらかじめ本資料をご覧いただくにあたって
『何を考えてそうしたのか』
という基本的な事柄からお話することが
大切かなと思っております。

本資料は、次のような考え方に沿って作成しております。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

そもそもなぜ高速化を目指すのか？

ワードプレスサイトに限りませんが、ウェブサイトが
「重たい」あるいは「遅い」場合、
いったい何が問題なのでしょうか？

これには２つの答が考えられます。

① 人が嫌がるから
② 検索エンジンが嫌がるから

まず①については、いわゆる**直帰率**に関係します。

ウェブサイトが表示されるまでの時間がほんの少し遅いだけで
場合によってはそのサイトページを開く前に閉じてしまい
別のサイトへ移動すると数え切れないほど報告されています。

つまり直帰率の激増を招く主たる要因のひとつが
ページ表示速度ということになります。

というより、PC でもスマホでも自分自身の日常を
思い浮かべるだけでお分かりのはずです。

また、直帰率だけではなくアフィリエイトサイトや販売サイト、予約サイトなどでは
コンバージョン率（成約率・申込率）にも大きく影響を与える報告が多々挙がっています。

つまり、少しでも長く自分のウェブサイトに留まってもらうためには
人が嫌がると分かっていることはできるだけ解決しましょう、ということです。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

次に、②の「検索エンジンが嫌がる」という点ですが
今回測定用サイトのひとつに Page Speed Insights を使っていますが
Google の運営するサイトであり、測定結果に問題の指摘とともに
「ああせい、こうせい」とさまざまなアドバイスを確認することができます。

この「ああせい、こうせい」アドバイスを見るだけでも
逆に指摘している問題点は Google 検索エンジンにとって
嫌だなと考えていることだと判断できるわけです。

それら指摘問題を解決すると、Page Speed Insights では
ぐんぐんと良いスコアになってきます。

しかしそのときの解決策と出てきたスコアが、**SEO にどれだけ影響するのか**
公開されている定量的な情報は残念ながらありません。

ただ、検索エンジンは利用者が求める情報を
いかに正しく、いかに快適に差し出せるかを使命としてきたことからも
「人が嫌がること」は結局検索エンジンにとっても問題とするのだと容易に想像できます。

そもそも Page Speed Insights の HOME 画面には
「あらゆる端末でウェブページの読み込み時間を短くしましょう」
というメッセージが表示されているほどです。

こういった観点から、
ウェブサイトの高速化を追及することは
本質的に重要且つ大きなメリットがある
と言って過言ではないと思います。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

本資料が役に立つ方は・・・

言うまでもないことですが・・・

現に、**高速化したいワードプレスサイトをお持ちである方**を想定しております。
また、それなりに投稿記事も積みあがっており、
運営しているワードプレスサイトに対して
「重い」「遅い」と感じている方の場合、
ほぼ例外なしに本資料に述べた施策で効果を実感できると確信しております。

逆に言うと、これから初めてワードプレスサイトを作るという段階の方は
なにはともあれ記事コンテンツを充実させることに注力しましょう。

まっさらのほとんど何も無いワードプレスサイトなら、恐らくその時点が最速であり
本資料でご紹介する数々の施策は先に活かせる知識として意味がある、
そのように理解いただければと思います。

今後コンテンツが増え、デザインや機能が凝ってくるにつれサイトは徐々に重たくなり
いずれ高速化の必要性を感じる時期がやってきますので
その際に本資料で述べていることを思い出し、是非活用してみてください。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

初心者が即日スコア 99 点を叩き出すための３つの方針

本資料は、ワードプレスを使ったことがある、または日常的に使っているが
ネットワークやサーバーの技術に詳しいわけではない
という、ごく一般の利用者を想定しています。

日常的にワードプレスで記事を投稿している方の中でも
ワードプレス活用のスキルという面では全くの初心者レベルの方から
セミプロ級の方まで人それぞれだと思います。

そういった点を踏まえて、ご自身のワードプレスサイトで実践し、
劇的な効果をいち早く感じてもらいたいと考えて
次のような方針でご紹介しています。

この方針を立て、実際に試行錯誤しながらようやく見出した事実を
本資料で詳しく述べております。
知る限り、最もお手軽で効果の高い方法だと考えております。

以下の方針は、主にサーバーとプラグインの選定や設定、手順に関係します。
一部外部サイトを使った操作も交えております。

簡単であること	初心者にも抵抗がないように操作が複雑なもの、面倒そうなものは避け、できるだけ一箇所でまとまった操作ができるものを選びました。
できるだけ無料追及	無料で達成可能なレベルを追及しました。合わせてプラグイン有料版に変更することでさらに高速化、さらに簡単になるものはその点も追及しました。
即効性があること	すぐに効果を確認できることと、効果の大きいものから順に対策するような手順を選んでいます。

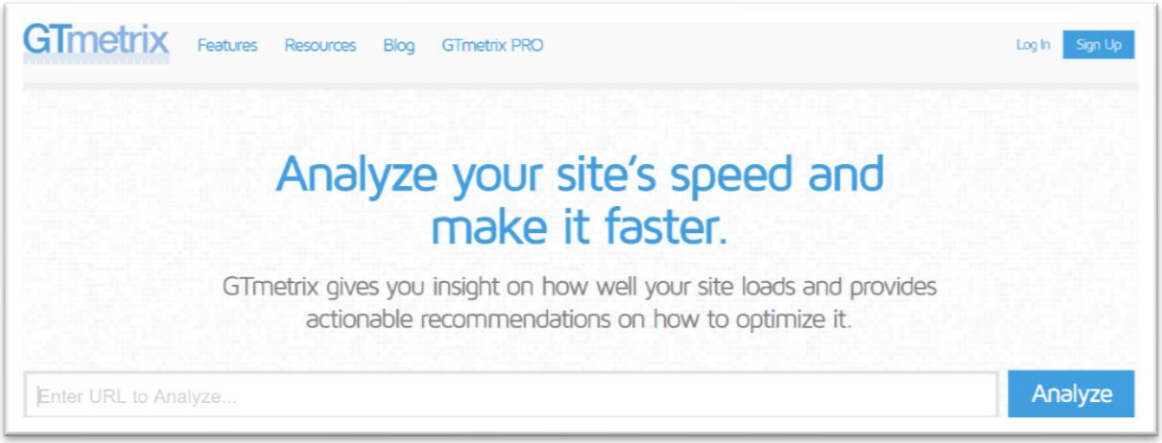
Copyrights KENBO All Rights Reserved

ワードプレス爆速化の定義とミッション

あなたの爆速化数値目標

本資料では爆速化の測定サイトとして、GTmetrix と Page Speed Insights の２種類を扱います。（以下のタイトルや画像クリックでサイト表示できます）

GTmetrix



老舗且つメジャーな測定サイトです。

登録（sign up）しなくても URL を記入し、
Analyze ボタンをクリックするだけで各スコアが表示されます。
ただし、より具体的且つ精密なアドバイスを得るためにも登録しておいたほうがベターです。

本資料では GTmetrix において、**Performance Score** として表示される
Page Speed Score と YSlow Score の２つを指標として使います。

それぞれの意味は、本資料の中で説明しますが
スコアはそれぞれ **A～F の６段階**となっており、
A＝90%以上、B=80%以上といった具合で
さらに具体的な数値が表示されます。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

Page Speed Insights

Google　Developers サイトのひとつであり、
こちらも超メジャーな測定サイトのひとつです。

PC とモバイルで別々のスコアが表示されます。
モバイルとパソコンのタブで切り替え、それぞれの結果とアドバイスなどを確認できます。

何といっても Google が提供するツールですので、外すわけにはまいりません。
こちらはダイレクトにモバイルとパソコンとそれぞれのケースで
100 点満点中の何点か数字が表示されます。

GTmetrix が A~F の 6 段階となっているのに対して
Page Speed Insights では、3 つのカテゴリーに分類されます。

すなわち、**90～100（速い）50～89（平均）0～49（遅い）**であり、
「速い」の分類がかなり狭い範囲に絞られていることもわかります。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

そこで爆速化の定義ですが・・・
GTmetrix および Page Speed Insights
において基本 **90 点（%）以上を目標ライン**としましょう。

なぜならそれぞれ 90 点（%）以上だと、
GTmetrix、Page Speed Insights とも「速い」と認定しているスピードであり
同時に**体感的にも**対策前と比べて
「はやっ！」と感じられるレベルだからです。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

見た目とスピードアップはトレードオフである

ところで、あなたは素朴な疑問を抱いていませんか？

本資料タイトルに『スコア 99 点を叩き出す』とあるが

スコア 100 点を叩き出す、ではないのか？と。

はい、実は 100 点を叩き出すことも可能です。
しかし、あえて 99 点としたのには**ワケがあります**。

100 点満点を出すためには、目安としてだいたい 95 点に達したあたりから
ボクシングに例えるとさらに減量が必要となります。

つまりどんどん身を削る最後の一押しが必要なのですが
問題はこのために、たいてい**何かを犠牲にしないとなりません。**

その犠牲とは、ビジュアル的なものや高機能な仕掛けのようなものです。

例えば、高解像度の多数の画像、目を惹く動画であるとかスライダー表示であるとか
閲覧者にとってはどちらかというとプラスになるかもしれないが
高速表示という面では足を引っ張るような何かです。

言い換えれば**人間の感性に訴えるような何か**、だと理解すると分かりやすいです。

ここで言いたいことはシンプルです。

ウェブサイトの見た目と高速化のスコアは
概ねトレードオフの関係にあるということです。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

このトレードオフ関係が腹に落ちると、100 点満点を目指すことが
必ずしもゴールではないことが自ずと理解できます。

つまり、高速化したいワードプレスサイトの本質を考えたとき
・　そのサイトで何をアピールしたいのか
・　そのサイトに何を求めているのか
・　そのサイトで何を提供すべきか
こういったことを見極めたうえでの**バランス（落としどころ）**
をどう取っていくのか？ということを突き詰めることでもあると言えます。

100 点を取ったからといって、犠牲にするものによっては
かえってマイナスになってしまうことだってあり得ます。

この後のセクション（Before After）では著者の
ワードプレスサイトでの実測定データをご紹介しています。

100 点を取る施策もわかっているのですが
あえてそうしなかったのは、大切にしたいと考えているものを
失いたくないからに他なりません。

大切にしたいものを残したまま、それでもギリギリまで頑張れば
十分に良いスコアと体感速度を得られるということを
知っていただきたいと思います。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

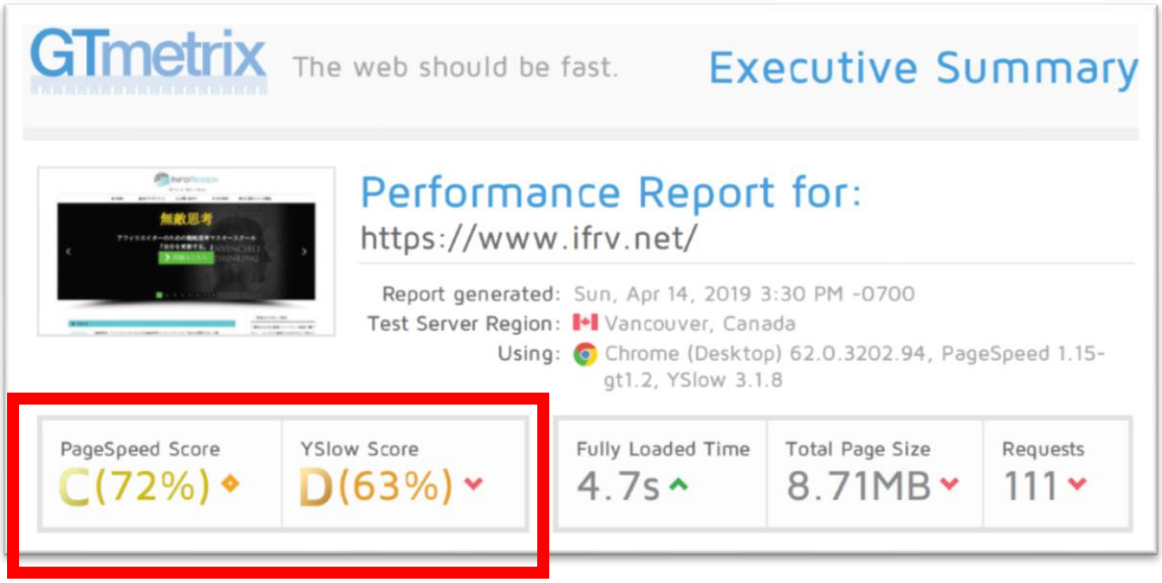
Before After

著者のワードプレスサイトは以下になります。
https://www.ifrv.net/

ここでは、手っ取り早く対策前と対策後のデータについてご紹介します。
対策後のデータは前ページでご説明した通り、大切にしたいものは高速化の犠牲にしないという考え方のまま現時点で到達したスコアです。
（因みに、今後もいろいろ高速化の模索をするつもりであり、測定数値は変動します。）

Before（対策前）

GTmetrix のみ（Page Speed Insights はキャプチャ撮り忘れてました）



ここで図の左下にある 2 つのスコアに着目してください。
PageSpeed Score　　=C(72%)
YSlow Score　　=D(63%)

Copyrights KENBO All Rights Reserved

なんとなくでも、良いとは言えないデータだとお分かりになるかと。

ここで、
PageSpeed Score とは、
Google が提供している「Page Speed」の評価です。

YSlow Score とは
Yahoo が提供している「YSlow」による評価となります。

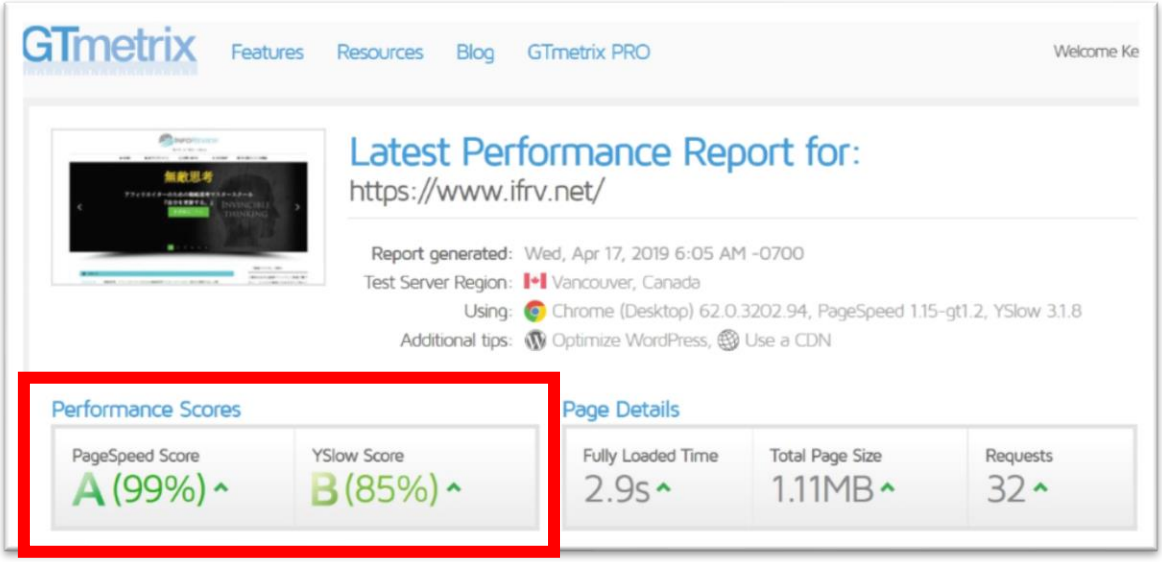
それぞれ性能評価の**観点**が異なっております。
この測定結果には、それぞれさらに細かい評価パラメータが示されており
その対策についてのアドバイスも示されています。

また PDF で簡易版、詳細版ともダウンロード可能です。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

After(対策後)

① GTmetrix



ここでも図の左下にある 2 つのスコアに着目してください。

PageSpeed Score　=A(99%)　←72%から 27 ポイントアップ
YSlow Score　=B(85%)　←63%から 22 ポイントアップ

と大きく改善されていることが分かります。

YSlow Score のスコアが 85%に留まっている理由は、
足を引っ張っている主たる原因である **CDN(Content Delivery Network)**
を使っていないからですが、これは現時点では種々の理由で不要だと考えました。

CDN という、あまり聞きなれない言葉がここで登場しました。
本資料では「初心者も即日スコア 99 点」を謳っており、
難しい話は極力除外しているつもりですが、人によっては重要かもしれず
本資料の最後にあらためて触れております。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

② Page Speed Insights

まずこちらはモバイル測定値

次にこちらがパソコン測定値

Copyrights KENBO All Rights Reserved

モバイル、パソコンとも 97 点を達成でき、ともに爆速状態に変身しました。

Page Speed Insights は、Google が公式に提供している
ウェブサイト表示速度測定ツールです。

2018/11/14 付けの Google ウェブマスター向け公式ブログによると
Lighthouse を分析エンジンとして採用した発表があり、
要するにかなり気合を入れている（厳格に見ている）ということになります。
（Lighthouse については、Page Speed Insights サイトでも表示されています。）

Copyrights KENBO All Rights Reserved

即日でスコア 99 点を叩き出すための事前準備

爆速化施策の詳細に入る前に、**どこを押さえておけば良いのか？**
といったポイントについて解説します。

爆速化のための「３つのファクター」を理解する

90 点（%）以上を合格ラインと置いた場合に、この３つを常に意識しておくと
袋小路に入ることなく、大抵何とかなるという基本ファクターです。

それぞれ本資料の中で、理由も含めて詳しく説明しております。

ワードプレステーマ	実績と将来性、SEO、サポート、デザインなど長期運用に不安のないテーマ選定
サーバー	基本性能、PHP バージョン、高速化施策の有無など、爆速化の基本要件を満たすこと
プラグイン	画像系、キャッシュ系での簡単・わかりやすさ・効果・安定性による選択と脇役プラグインも要チェック

テーマ・サーバー・プラグインの三種の神器と覚えておきましょう。

爆速化に伴う問題は、このいずれか或いはそれぞれの関係性の中で
解決できることが多くを占めているからです。

ただし、テーマとサーバーは後で変更ができないわけではないものの
途端に面倒な話になるため最初の選定が最重要となるのは言うまでもありません。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

若干の投資でさらに簡単に安定化・高速化ができることを知る

前項でのワードプレステーマ、サーバーおよびプラグインにおいて
テーマとサーバーへ多少なりとも投資をすることはさほどの抵抗は無いと思います。

一方でプラグインに投資する（＝有料プラグインを採用する）ことは
抵抗感がある方の方が多いかもしれません。

本資料では**有料プラグイン化**したほうが長いスパンで考えたとき
圧倒的に楽であり、面倒なことしないで大きな効果も期待できるものを
ひとつだけ提案しています。

安定性もあり、高い評価を得ている定番キャッシュ系プラグインである
「WP Fastest Cache」の有料版（Premium）です。
（無料版有効化した後、プラグイン管理画面にて購入する形）

著者の環境では、**他プラグインやテーマとの競合問題もこれまで一切なく**
しかも**「高速化のための新たな機能がいつのまにか追加されている」**
素敵なプラグインでして、本資料にても詳しく解説します。

なんとしても高速化させるぞ！という執念のようなものが
このプラグインに感じられるほどに、ほぼオールインワンで機能が揃っています。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

スコア 99 点達成のための爆速プラン

こちらも爆速化施策の前にお話しておきたいことです。
長々と前置きのような話が続いているように感じられるかもしれません。

しかし、とても重要なことです。
私はここで述べる考え方、行動を常に意識しているから
短時間にてきめんな効果を味わうことができたと自覚しています。

作業プロセスのおおまかなイメージ

爆速化をできるだけ短時間で最大の効果を得るために、
一見小さな課題のように見えますが、「テキトー」ではなく
できるだけ**「効率の良い方法」**を考えてはいかがでしょうか。

何事も当てずっぽうではなく、合理性のある考え方を選ぶほうが
間違っていたときのフィードバックも早くずっとうまくいくものです。

次ページの手順は、こうしなくてはなりません、**ではなく**
少なくとも著者はこのように考え、行動し成果を出せているので
良かったらご参考にしてください、という意味合いです。

「即日 99 点」のためには、無駄な思考と作業を極力減らして
一直線に目標達成に向けて合理的に進めることを強くお勧めします。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

1	なにはともあれ現状を知る（測定する）
2	大きな問題を把握する
3	サイト方針と照らし対策を決める
4	対策を打ち、再測定する
5	最終的に残った問題の対策を打つ

この手順において、[1]の現状把握は誰でも普通に思いつくはずです。
あなたの今のワードプレスサイトを黙って測定し、ありのままを知りましょう。

で、[2]~[4]がかなり重要です。
測定結果とアドバイスが表示されるのですが、
表示速度に悪影響の大きな項目から順に出てきます。

ここで思い出して欲しいのは、そもそも
- そのサイトで何をアピールしたいのか
- そのサイトに何を求めているのか
- そのサイトで何を提供すべきか

これらサイト方針に相当することです。

スピードを犠牲にしても大切にしたいこと、譲れないものがきっとあるはずです。
そういった**サイト方針と照らし、何を残すのか、何を捨てるのか**といった
ようなことを決定しなくてはなりません。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

サイト方針を見直す一環として、この直後にお話する
「PC とスマホを分けて考える」ということも
是非合わせて検討してみてください。

残すもの、捨てるもの（＝削除するもの）を決めたら
具体的に個々の対策を打っていきます。

実施した対策が、的を得ているかどうかは、
再び測定すればすぐにわかります。
（※個々の効果確認のためには、一度キャッシュを削除して
　再測定することをお勧めします。
　WP Fastest Cache プラグイン（有料版）なら一発処理でキャッシュを削除できます。
　この場合、キャッシュ削除後の 1 回目の測定では全てを読み込むため
　スコア改善は見込めませんが 2 回目以降の測定値で判断してください。）

スコアが改善されていないなら、実施した対策が効いていないため
対策方法の見直しを行います。

これを繰り返すうちに、有効な対策が明らかになるとともに
最終的には、『**あと少し頑張れば**』という問題だけが残るはずです。

ここで最終的な**チューニング**を行うことで、さらにスコア改善の期待が持てます。

・・・というようなことを私自身、あれやこれやとやってみて
　Before After でご紹介したスコアに達したのです。
（※本資料では、その試行錯誤の手間を極力省いて
　速攻で目標に達することができるノウハウをダイレクトにお伝えしています。）

Copyrights KENBO All Rights Reserved

PC とスマホは分けて考える

ワードプレステーマを選んだら、普通 **PC での表示デザイン**から
決定することが多い（ほとんどかも）と考えられます。

今どき、**レスポンシブデザイン**は当たり前とも言えますので
スマホやタブレットで違和感なくキレイに見えることも
ごく普通のことだと、誰もがそう理解しています。

サイト方針に関係する話ながら、PC のトップページに表示する内容を
スマホでも全てそのまま表示すべきかどうか、ここは考えどころです。

スクリーンサイズが小さくなるスマホでは、表示内容や表示方法を
PC とは別に考えるべきと著者は考えています。

著者のサイトトップページを例に PC で見ると、ヘッダー画像エリアには
現在、アニメーション動作も含めたスライダー機能を搭載しています。

このままスマホで確認すると、PC と同様にスライダー画像が
表示されるわけですが画像が縮小表示される分、スライダー画像内の
テキストが見づらくなることがわかりました。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

スマホ上のごちゃごちゃと小さな文字付のスライダー画像は
閲覧者にとっても煩わしいだけだと考え、**スマホでは表示させておりません。**

「えっ、どうやって？」

という話は、もう少し後で詳しくご説明しますが
“**Widget Logic**”というプラグインを使って該当する Widget を
PC のみで表示し、モバイルでは表示しないという具合に簡単に分岐制御できます。
（スライダー画像の表示制御を Widget で管理しています）

ところで今なぜこの話をしているかというと、**爆速化の点でも関係するから**です。

GTmetrix では Page Speed Insights と異なり
モバイルと PC での測定値が別々に出てくるわけではありませんが
このスライダー画像を“スマホでは表示させない”設定にするだけで
GTmetrix のスコアも改善することを確認できました。

Page Speed Insights のモバイルスコアでは
当然ながらスライダー画像有り無しで大きく変化します。

さてここからは、爆速化のための施策について具体的な説明に入ります。

「テーマ・サーバー・プラグインの三種の神器」

が爆速化のカギを握っており
その中身を順に細かく説明しますね。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

ワードプレステーマ選定でミスらないために

まず一般論として、ワードプレステーマ開発経験が豊富で、長く運営している
テーマ開発・販売会社より購入することをお勧めします。

こういった開発・販売元であれば不具合対応などの**サポート**や、
テクノロジー、利用形態などの**環境変化にも適宜対応**しているはずであり
その点でも利用者の根強い支持を得ていると判断できます。

そして、まさにこの点はワードプレステーマを
安定的に高速化を維持していくために欠かせないポイントとなります。

オリジナルのワードプレステーマ開発をどこかに委託することも可能ですが、
テンポラリーな用途であればともかく、長く愛用していきたいと考えるならば
将来のメンテナンスやサポートの充実度合がより重要になってきます。

因みに著者は過去 10 年以上にわたって、さまざまな場面で
数多くの有料または無料のワードプレステーマを使ってきました。

本資料での測定対象サイトとしてご紹介している著者のサイトでは、
WING(AFFINGER5EX)というテーマを活用しております。
（注：前記リンク先は著者による WING 紹介ページになります）

その意味では、本資料で公開している測定値は、
“WING(AFFINGER5EX)だからこそ”という点はもちろん否定しません。
（と言いますか、元々そういう優れたテーマだと知って活用しております。）

Copyrights KENBO All Rights Reserved

ただワードプレスサイトの表示速度は、
テーマの選定以外に多くの要素が絡み合っています。

サーバーやプラグインによる影響は極めて大きく
テーマの種別に関わらず、本資料で述べた施策を取るならば
ほぼ似たような傾向で爆速化が実現できると確信しています。

またテーマ選定において、繰り返しになりますが不具合対策などの
バージョンアップがきちんと為されていることは極めて重要です。

プラグイン同士の競合だけではなく、プラグインとテーマとの間で
不具合が生じる可能性もあり、あるテーマでは問題なくても
別のテーマでは不具合が発生するようなこともあり得ます。

そういった点からも本資料でご紹介するプラグインについては
できるだけ、多くの人の支持があり且つ簡単で安定しているものを
必要最小限に絞っていますので、そのようにご理解ください。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

正しいサーバーの選定と設定

先に申し上げると・・・
サーバーがしょぼいと、おそらく何をやっても効果が期待できません

低価格ながら、もともと高速性能と安定をウリにしており、
管理画面からの操作もわかりやすいと定番のお勧めが **XSERVER** です。

著者のワードプレスサイトも XSERVER(ワードプレス専用の wpX **ではありません)**
で運用しており、**ここでは XSERVER で説明を進めていきます。**

電話サポートも充実しており、著者もこれまで何度も電話で
相談したことがありますが全く不安がありません。
（本資料作成においても、念のため確認したいことがいくつかあったので
電話とメールで相談したところ当日内に確認でき安心しました。）

XSERVER 以外のサーバーをご利用の場合は、
以下に述べる XSERVER での高速化のための設定と PHP 設定に
該当または類似するものがあるかどうかをご確認ください。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

XSERVER の爆速設定

XSERVER の**「サーバーパネル」**を開いてログインします。
（XSERVER にはサーバー機能設定用のサーバーパネルと、
各種契約などを管理するインフォパネルの 2 種類が用意されています。）

ログイン画面の右下のほうにある、「PHP」と「高速化」の 2 箇所が
爆速化のポイントになります。

手順としては
最初に「PHP Ver.切替」→次に高速化の各種設定に進みます。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

「PHP Ver.切替」は**ドメイン毎に設定**することになります。

ワードプレスをインストールしているドメインに対して
PHP7.2.x（推奨となっている箇所）を選択します。

次に高速化の設定を行います。

XSERVER では前ページの図にあるように
・　X アクセラレータ
・　サーバーキャッシュ設定
・　ブラウザキャッシュ設定
と 3 つの設定が可能です。

これらもすべて、**ドメイン毎に設定**を行います。

X アクセラレータとは、大量のアクセス耐性強化と PHP プログラムの高速化などの
独自機能ですが、漏れなく**「X アクセラレータ Ver.2」**を選択しましょう。
（X アクセラレータ Ver.2 は 2019/2/20 リリースの最新高速化機能です。）

またサーバーキャッシュ設定、ブラウザキャッシュ設定ともためらわず**「ON」**

これが最速設定ですが、「X アクセラレータ Ver.2」については
PHP7.2 以上の設定が必須となっております。
（このために先に PHP バージョン切替を行います。）

はい、以上で XSERVER の爆速化環境設定完了です。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

PHP7.2 以上を使うべし

本資料作成時点では、XSERVER に限らず世の中にリリース済で安定している
PHP バージョンは **PHP7.2.x** が最新となっています。
（本資料作成時点で XSERVER にて利用可能な最新バージョンは **PHP7.2.6**）

従来の PHP に比べて 2 倍以上の速度があると言われており、
万一ご利用のサーバーが PHP7.2.x をサポートできていない場合は
爆速化に対して相当に不利になるとご理解ください。

因みに、PHP は Hypertext Preprocessor の意味で
HTML に埋め込み可能なスクリプト言語のひとつです。
（拡張子が php となっているファイルのことでワードプレスでは数多く存在します。）

PHP とともに、よく引き合いに出されるものとして javascript があります。
javascript については、この後プラグインの話の中でも触れていますが
PHP はサーバー側で書かれたコードが実行され、
javascript はクライアント（ブラウザ上）で実行される点が異なります。

よってここでの理解としては・・・
PHP はサーバー側で実行されるプログラムなので
サーバー性能がそのまま実行速度に影響することを知っておきましょう。

つまり**サーバー性能が高いと、PHP も速く実行され**
その結果、**爆速化にプラスに働く。**
逆に**サーバー性能が低いと、PHP はもたもた実行され**
その結果、**爆速化の足を引っ張る**。
というわけです。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

爆速化必須プラグイン

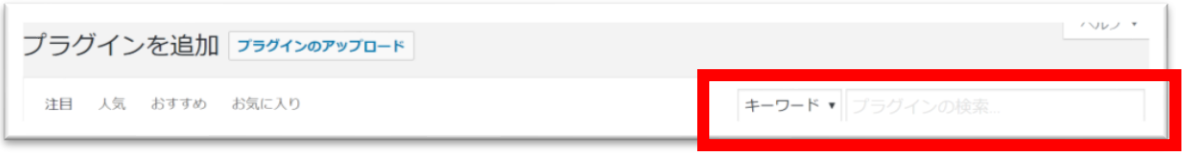
以降は、あくまで**爆速化のために必須であると著者が判断したプラグイン**となります。
高速化以外の目的に活用するプラグインについては対象外としております。

WP Fastest Cache	数あるキャッシュ系プラグインのうち、実際に使ってみて ・　動作が最も安定していること ・　使い方がとにかく簡単で ・　機能がひとまとめに揃っている ことが推奨ポイントです。 特に、有料版(Premium)は強力ですので このプラグイン活用時は有料版を強くお勧めします。
EWWW Image Optimizer	画像ファイルを最適化し、ファイル容量を縮小できる 定番の必須プラグインです。 過去にアップした画像も一括で最適化でき、 サイト運営者に欠かすことのできない優秀なプラグイン。 またスマホやデジカメで撮影した画像には撮影情報（日時とか機種情報等）が含まれており、これらをアップしてサイトに使う場合には不要な情報であり自動で削除してくれます。
Imsanity	一定サイズ以上の大きな画像に対して 自動で適正サイズに抑えてくれるプラグイン。 （大きな画像はファイル容量も大きく、爆速化の 足を引っ張ります。）

Copyrights KENBO All Rights Reserved

この３つのプラグインは、どのようなワードプレスサイトであっても
共通して爆速化に寄与するはずです。

念のために付け加えておきますと
プラグインの利用方法はワードプレス管理画面（ダッシュボード）にて
プラグイン→新規追加とすると、下図のような表示が出てきます。



赤枠で示すキーワード検索部分に、プラグイン名入力で探し
見つけたら「インストール」→「有効化」します。

ここでご紹介した３つのプラグインについては、
詳しい使い方を次ページより説明いたします。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

爆速化手順１：「画像」から片付けてみよう

画像を全く使っていないワードプレスサイトは想像できません。
たいていのワードプレスサイトではなんやかんやで画像を多用しているはずで、
実はこの画像こそが爆速化の足を引っ張る大きな要因のひとつになります。

GTmetrix にしろ Page Speed Insights にしろ
「画像を何とかしろ」という主旨の問題指摘には大きく分けて 2 種類あります。

① 画像のファイル容量が大きい
② 画像のサイズが最適化されていない

これらの問題をクリアしてくれるプラグインが、
EWWW Image Optimizer と Imsanity です。

この 2 つのプラグインを使うだけで、画像が多いワードプレスサイトほど
顕著に、GTmetrix と Page Speed Insights の
スコア改善が見込めると思います。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

EWWW Image Optimizer プラグイン

このプラグイン、とにかくヤバいくらいに優れものです。
著者のお気に入り理由は、次の 3 項目になります。

メディアライブラリに画像ファイルを登録すると自動で軽量化

アップロード済の画像ファイルも簡単に「一括最適化」で軽量化

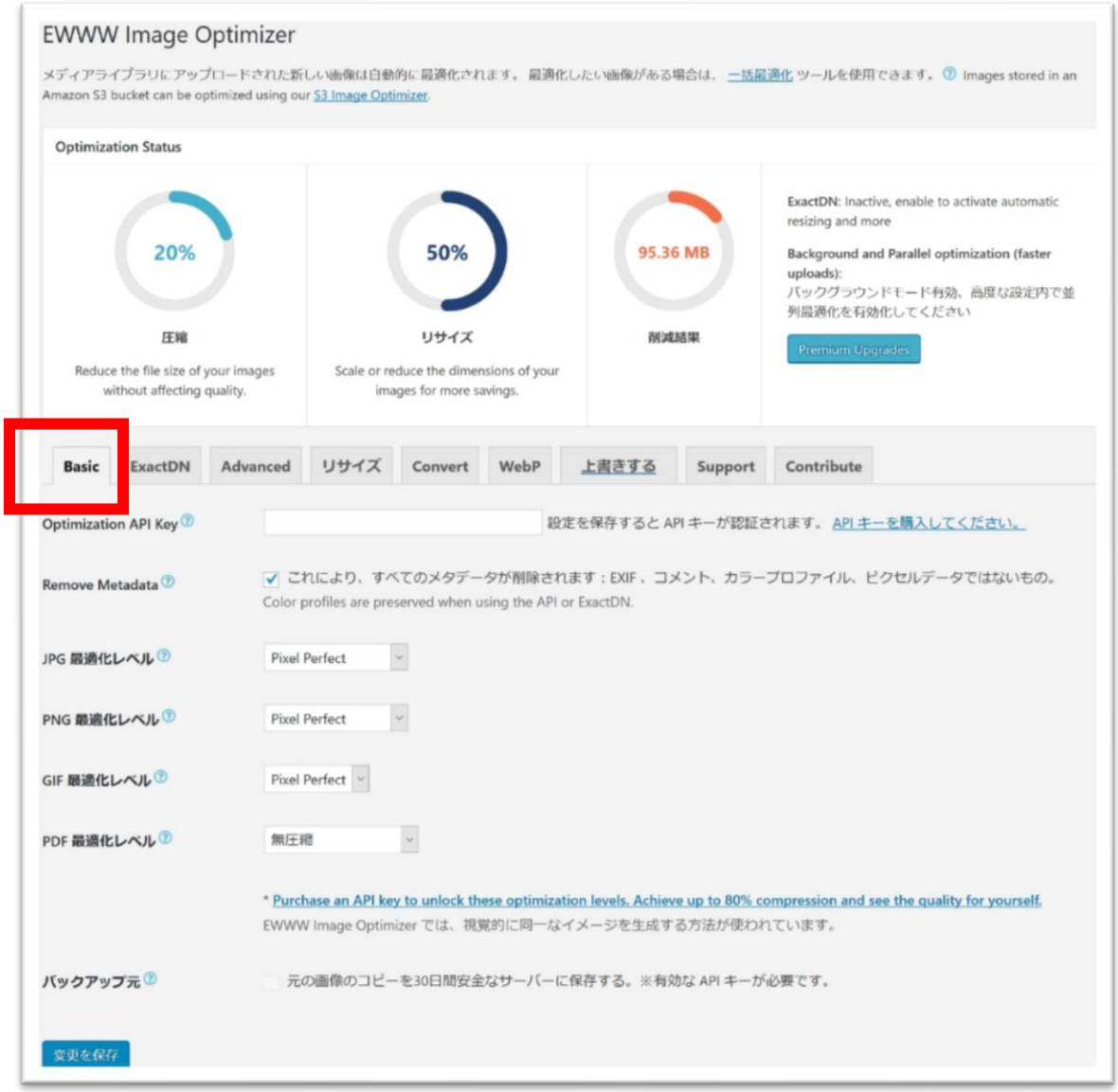
写真のExif情報やコメントなどを削除してくれる

有料版へのアップグレード(=Premium Upgrades)では、
さらなる画像圧縮も期待できるのですが（$9/月または$0.003/image のプラン）
無料版のままで十分な爆速効果を体感できるはずです。

では、インストール→有効化の後から図で説明します。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

こちらが EWWW Image Optimizer の設定画面です。



上の図は「Basic」タブでの設定ですが、**デフォルトのままで OK** です。
Remove Metadata は、Exif 情報などの削除機能なのでチェックが
入っていることを確認してください。

他のタブでの設定もデフォルトのままで問題ありません。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

過去にメディアライブラリに登録した画像については
ダッシュボード上の「メディア」→「一括最適化」を選びます。

「最適化されていない画像をスキャンする」をクリックすると
画像検索が自動で開始され結果を表示します。

結果が表示されたら最適化を GO します。
処理時間は画像の数やサイズなどに依存しますが
ひたすら完了までしばらく待ちましょう。
（進行状況が表示されます。処理画像数によって数時間かかることもあります。）

完了後一旦ここで、GTmetrix および Page Speed Insights で
再測定すると元々の未処理画像（＝最適化されていない画像）が多ければ多いほど
スコア改善され、また問題指摘の内容も変化している（＝多くの場合減っている）
可能性が高いです。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

Imsanity プラグイン

画像ファイルを登録するときに、最大幅を超えると自動でリサイズ

アップロード済の画像ファイルもリサイズできる

例えば、通常デジカメで撮った画像をそのまま登録すると、
ワードプレスサイト上の表示としては必要以上に大きなサイズとなります。

こういった大きな画像が登録することを防いでくれ、また
過去に登録済の画像にもリサイズが可能なプラグインです。

こちらもインストール→有効化の後から図で説明します。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

最大の幅については、利用テーマにも依存しますがお好みで設定してください。
この値を超えた画像が登録されると、**最大の高さ＝0** にしておくことで
縦横比を維持したまま自動でリサイズしてくれます。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

画像は（できれば）最初からピッタリのサイズで作る

プラグインとは直接関係ないのですが、画像つながりの一環で
知っておいたほうが得、という Tips をご紹介します。

それは、もともと**表示する幅・高さの画像サイズが決まっているなら**（PC 表示を前提に）
あらかじめ**その画像サイズでメディアライブラリに登録する**ことをお勧めします。

GTmetrix および Page Speed Insights において
試行錯誤するうちに発見した事実をご紹介します。

著者のワードプレスサイトにてスライダー画像を
ヘッダー画像エリアで使っていることはすでにご説明した通りです。

このスライダー機能は著者のお気に入りでして、
（Smart Slider Pro という有料プラグインを使っています。）
機能も表現もかなり自由度があり、これからもいろいろに工夫して
表現したいと考えております。

一方でこのスライダー画像は、爆速化の足を引っ張っていることが明白で
画像を EWWW Image Optimizer で圧縮してもなお
画像サイズが最適化されていない問題指摘が続いておりました。

で、著者のスライダー画像用途においては、画像サイズが
一律 1200pix X 450pix であることに気づきました。
（この値は一般的にはワードプレステーマの仕様や制約にも依存します。
著者の利用しているテーマでは、トップページに関して表示幅を
1200pix に設定しているため、このような値になっております。）

Copyrights KENBO All Rights Reserved

あらかじめこのサイズで画像を切り出し、登録後に
あらためて EWWW Image Optimizer で最適化し
再測定してみました。

すると・・・

見事に画像サイズ最適化に対する問題指摘が無くなったのです。
そしてこの問題指摘が無くなった分、スコアも改善されました。

このことから言えることは、
可能な限り、表示させたいドンピシャサイズで画像登録する
ことが爆速化に寄与するということです。

順序として、表示させたいサイズでメディアライブラリに登録し、
後は EWWW Image Optimizer プラグインに任せる、という流れです。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

爆速化手順２：キャッシュプラグインを使う

重たい画像をとりあえず片付けたら、次の出番はキャッシュ制御です。

キャッシュ系プラグインもさまざまなのですが、往々にして
何かと問題発生時の主犯として指摘されていることが多いようです。

そのせいか、やはり導入には誰しも慎重になります。
言い方を変えると、効果ありそうだけどビビッてしまって使いたくとも使えない
検索して調べてもどれがいいのか、どう使えばいいのかやはり悩む・・・

そういったように期待感大きいが、ちょっと怖い存在がキャッシュ系プラグインというものです。

WP fastest Cache

で、ここでは **WP Fastest Cache** なるプラグインをお勧めするわけですが
その有料版（Premium）はこれさえあれば他は無用というくらいに
よくできていて詳しく説明したいと思います。

著者も過去に数々のキャッシュ系プラグインを複数のテーマで使ってみましたが
このプラグインのお勧め理由が以下になります。

動作が非常に安定している（著者環境では複数テーマでも問題発生皆無）

使い方がとにかく簡単（うまくいかない機能あればチェックを外すだけ）

キャッシュ回りの機能＋αがほぼ集結している。さらに機能も適宜進化（Premium版）

Copyrights KENBO All Rights Reserved

WP Fastest Cache をプラグイン検索で見つけ、
インストール→有効化を行います。

この時点では当然無料版プラグインのインストールとなります。
無料版もそれなりに頑張ってくれますが、実はおいしいところが使えません。

まず「設定」で赤くチェックを入れた箇所をご覧ください。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

チェックを入れるべきところとして、赤チェックの

- ログインユーザーに対してキャッシュを表示しない
- モバイルユーザーに対してキャッシュを表示しない

この２箇所ですが、まず「ログインユーザー」であるあなたはここにチェックを
入れておかないとワードプレスカスタマイズ等の作業もろもろ非常に不便になります。

また、「モバイルユーザーにキャッシュを表示しない」
ここが実は悩ましいところでして、チェックを入れておかないと
PC でのデザインキャッシュが利用されてモバイルでの画面表示が
崩れるケースが発生します。

しかし一方では、モバイルでも爆速化したいわけで
この下にある**「モバイルテーマのキャッシュを作成する」を利用（チェック入れたい）**
わけですが残念ながら無料版では活用できない仕様となっています。

有料版（Premium）を強くお勧めしている理由のひとつが
この「モバイルテーマのキャッシュを作成する」を使いたいからになります。

無料版では、他にもチェックを入れられない機能が複数あり
（前ページ画像中に“薄く表示されている”箇所）
さらに**「キャッシュの削除」「画像の最適化」「DB（Data Base のクリーンアップ）」**
も使えません。

「画像の最適化」だけでは先にご紹介した、EWWW Image Optimizer と
Imsanity の両プラグインでカバーできますが、「キャッシュの削除」と
「DB（Data Base のクリーンアップ）」はキャッシュ機能と密接なため
WP Fastest Cache の中で扱うほうが便利且つ安全と理解しています。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

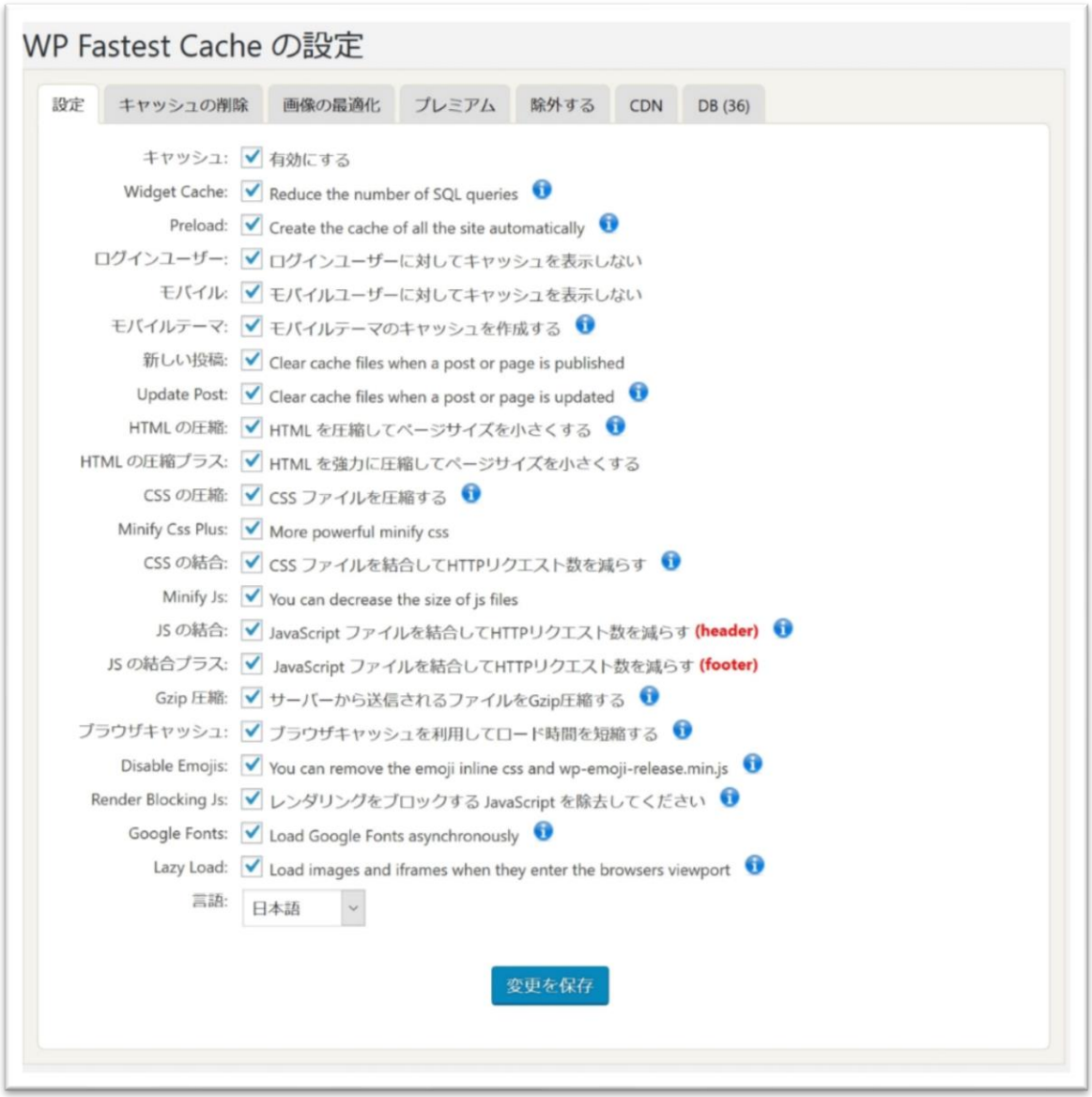
有料版（Premium）は「プレミアム」タブをクリックし「Update」ボタンから
購入画面へ進むことができます。

しばらくこの画面をチェックしておりませんでしたが、
「たったの$44.99」は以前$39.99 だったはずで値上がりしていましたが
その分、「追加される新機能」の項目も増えておりました。
（※本有料版プラグインの更新はわりとちょくちょくあり、
どんどん改善・強化されているようです。）

Copyrights KENBO All Rights Reserved

有料版 WP Fastest Cache の「設定」

ということで、**有料版(Premium)**を「プレミアム」タブ経由で購入した
設定画面が次のようになります。
（※無料版プラグインも削除せず残し、そのまま有効化しておく必要があります。）



ご覧の通り、すべてにチェックを入れておりますが、
実は一つ一つチェックを追加し影響を確認しながら、最終的にこの状態でも
他プラグインとの干渉による問題も発生しないことを確認しました。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

この WP Fastest Cache 有料版の**設定タブの各詳細項目**ですが・・・

実は、**GTmetrix と Page Speed Insights にて**
「ああせい、こうせい」と**指摘される主要な問題とほぼ重なっている**のです。

このことを言い換えるならば、チェックを**「全部入り」**にすることにより
それだけでスコアの大幅なアップが見込めます。

さて、ここで若干の**注意事項**をお伝えします。

設定タブの２行目にある**「Widget Cache」**
ここにチェックを入れると SQL queries が減少し（=サーバーとのやり取りが減少する）
表示速度改善になりますが、例えばスライダー画像処理を Widget に設定した場合
そのままではスライダー画像表示が（たいてい）崩れます。

スライダー画像に限らず、**「Widget で設定した表示がなんか変！？」**
という場合は、その Widget 内にある
「Don't cache this widget」にチェックを入れましょう。

すなわち、表示が崩れるなど影響する Widget については
キャッシュさせない制御にすることにより問題は解決します。

この Widget の制御に関しては、後ほどもう少し詳しく説明します。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

有料版 WP Fastest Cache の「キャッシュの削除」

GTmetrix や Page Speed Insights で測定し

何等かの施策を行った後は、一度「キャッシュの削除」ボタンをクリック。

CSS や JS(javascript)ファイルを修正した場合は「キャッシュと圧縮された CSS/JS ファイルを削除」ボタンをクリックしましょう。

（※クリックし間違えても問題はありません。）

Copyrights KENBO All Rights Reserved

表示速度改善のために何等かの施策を行ったら
「キャッシュの削除」または「キャッシュと圧縮された CSS/JS ファイルを削除」を
行う理由は、リセットすることによって条件を同じにして正しく測定するためです。

その際に、キャッシュ削除後の１回目の測定ではすべてを再読み込みするため
キャッシュ効果によるスコアは改善されませんのでご注意ください。

２回目以降の測定値で再確認しましょう。

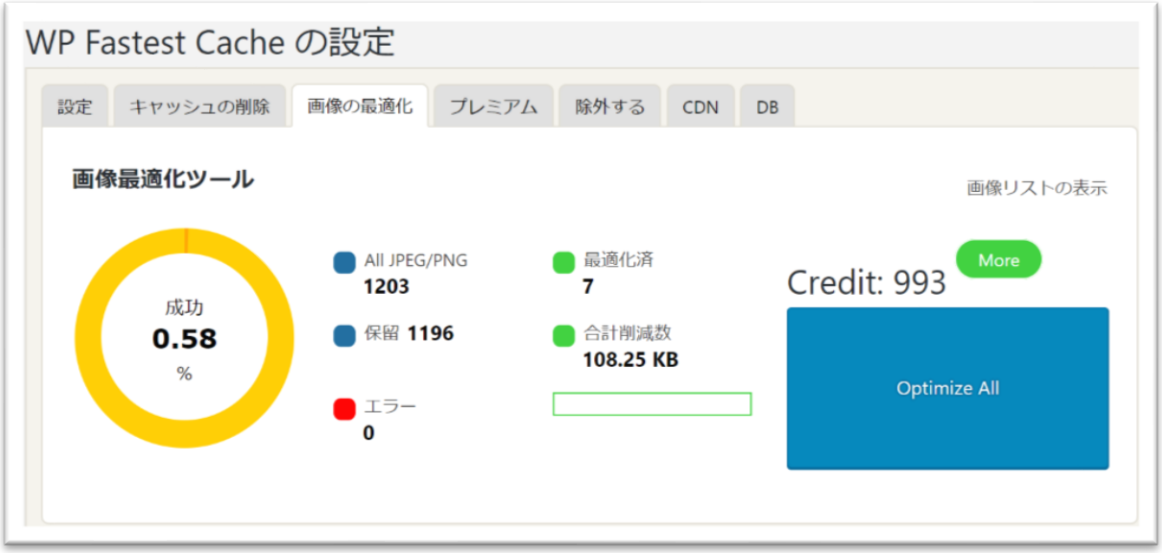
また前ページの図の下のほうに**「Timeout Rules」**という表記が確認できるかと思います。

これはキャッシュ削除をルーチン化するためのもので、
「Add New Rule」をクリックすると、どういうタイミングでキャッシュ削除を行うか
かなりの自由度で設定可能です。

著者の例では、「１日に１回、夜中の３時にキャッシュ削除」としています。
ここはお好み次第で設定してください。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

有料版 WP Fastest Cache の「画像の最適化」



“「画像の最適化」は、EWWW Image Optimizer と Imsanity の
両プラグインでカバーできます“と先に申し上げました。

この理由のひとつとして、あくまで著者のワードプレスサイトや環境に
依存するのかもしれませんが、EWWW Image Optimizer と Imsanity のほうが
爆速化のスコア改善に効果があったことを添えておきたいと思います。

このため著者としては WP Fastest Cache の「画像の最適化」
よりも EWWW Image Optimizer と Imsanity のご利用をお勧めしています。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

有料版 WP Fastest Cache の「DB」

Database をクリーンアップするためのものです。

Database をクリーンアップするための代替手段として
「WP-Optimize」プラグインを使うこともできますが
WP Fastest Cache（有料版）では一発操作で、しかも
同じプラグインの中の制御のため不安がありません。
（※Database をクリーンアップするという話と聞くと、人によっては
リスクを感じ戸惑ってしまうかと思います。そういった意味でも
たった一つのキャッシュ系プラグインの中で扱えるのは安心です。）

図ではクリーンアップ前の状態の例になります。
ここで「ALL」をクリックすると、一発で全ての項目がクリーンアップされます。

こちらも GTmetrix と Page Speed Insights の測定においては
測定条件を統一するため、一度クリーンアップしてから再測定しましょう。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

爆速化手順３：素敵な脇役たち

TinyPNG：画像を高品質のまま最高の圧縮率

画像の品質を落とさずにファイル容量を軽量化できるという観点では
実は EWWW Image Optimizer よりも優れたものが存在します。

それが TinyPNG

プラグインもありますが、**ウェブサイト経由での補助的な利用法**について説明します。
(因みにプラグイン版の名称は「Compress JPEG & PNG images」です)

そんなに優れモノなら、なぜプラグイン版で紹介しないのか？
という疑問に対しての答は、

- 一定の画像数（月 500 枚まで）を超えると料金がかかる
- プラグインを増やさず少しでも爆速化の足を引っ張らないようにする

からです。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

EWWW Image Optimizer よりファイル容量軽量化
という点で優れていると実感できたのは、
一度 EWWW Image Optimizer で圧縮した画像ファイルを
TinyPNG でさらに圧縮が可能（圧縮率は画像により変わります）
であることを繰り返し実験で確認できたからです。

そこでここでお伝えしたいプチノウハウは
お金をかけずにさらに画像軽量化を追及したい方向けの話です。

この手順としては；

① EWWW Image Optimizer で過去登録画像も含め最適化を実施する
② そのうえで GTmetrix または Page Speed Insights 測定にて、画像最適化の問題指摘が残っていた場合、該当する画像を FTP ソフト(*)などでダウンロード（URL も表示されているのでサーバーのどこにどんな名称になっているかもわかります。）
③ その画像を TinyPNG の Web サイトにドラッグアンドドロップするとファイル容量が縮小されるかどうかもわかります。
④ TinyPNG サイトより結果画像をダウンロードし、FTP ソフトで所定の場所にアップロード
⑤ GTmetrix または Page Speed Insights で再測定する

恐らくですが・・・残っていた画像最適化の問題指摘も消えている可能性が高いです。
著者の実験では、この手順で画像回りの指摘は無くなりました。
（あくまで著者サイトのトップページに関しての検証結果です。）

(*)FTP=File Transfer Protocol の略。不明な場合は検索などでご確認ください。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

Widget Logic プラグイン：表示をデバイス毎に制御

Widget をどこで使うか、どこで使わないかの条件分岐に重宝するのが
「Widget Logic」プラグインです。

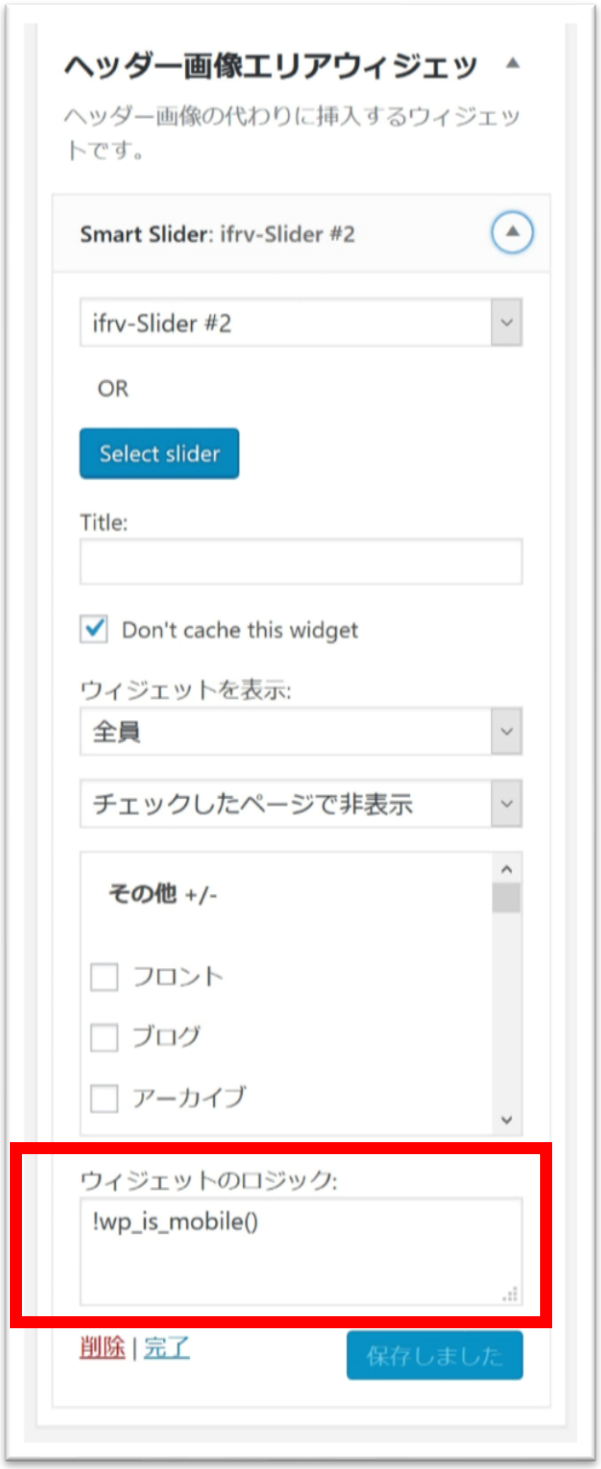
まずはプラグインの新規追加から「Widget Logic」を検索し
インストール→有効化します。

ここでは、爆速化がテーマですので一例として
著者ワードプレスサイトでの簡単な使い方をご紹介します。

先にご説明した話となりますが、
“トップページにスライダー画像を使うがこれは PC 表示のみでスマホでは表示させない”
ということに関して、実際の Widget でご説明します。

著者サイトにおけるスライダー画像の表示設定は
次ページの Widget で行っています。
（Widget の操作は、ダッシュボードより「外観」→「ウィジェット」で行います。）

Copyrights KENBO All Rights Reserved



ここで「ウィジェットのロジック」という箇所は
Widget Logic 有効化で表示され、設定可能になります。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

「ウィジェットのロジック」内の内容をみると、

!wp_is_mobile()

とありますね。

wp_is_mobile()とは、モバイルで表示するという意味です。
先頭に「!」とあるのは否定形となり、
! wp_is_mobile()の意味は「（PC のみで表示し）モバイルで表示しない」となります。

ここいうモバイルとはスマホだけではなくタブレットも含まれます。
スマホだけの表示にするには function.php に手を加えることで可能ですが
php ファイルを触ることは中・上級者向けとなりますので省略します。

なお「Widget Logic」の分岐制御の書き方のいくつかのサンプルもご紹介します。
この書き方を知っているだけで、よりきめ細かな表示制御が可能になり
爆速化にも応用できることを理解していただければと思います。

is_home()	ホームページで表示
is_single()	投稿記事で表示
is_page()	固定ページで表示
is_category('1')	カテゴリーID＝１を表示
is_single(array(1, 9, 3, 11))	指定 ID（1,9,3,11）の複数投稿記事で表示
is_single() || is_page()	投稿または固定ページを表示 ||は「または」です。
is_archive() && !is_category()	アーカイブ且つアーカイブカテゴリーを除いて表示 &&は「かつ」であり、!は否定形

なお「Widget Logic」プラグインについての詳しい説明は、
検索するとたくさん見つかりますので必要に応じてご検討ください。
（これ以上の説明を本資料では割愛します。）

Copyrights KENBO All Rights Reserved

爆速化手順４：残すもの、捨てるものを決める

この話は、**サイト方針に関係**します。

本来は高速化云々の前に、どうあるべきかを考えるのが本筋ですが
人は問題に直面することで初めて真剣に考える傾向があるようです。
（かく言う著者がそうですので。。。）

実際に GTmetrix および Page Speed Insights で測定し
表示スピード上の問題点の指摘を眺めると、あらためて
「なるほどなぁ～そこかぁ、どうしようかな」と
どうあるべきかを見直すきっかけにもつながりました。

残すもの、捨てるものを PC とスマホ別々に考えてみるのがツボかなと。
あくまで著者のサイト事例として、こんな風に考えましたということをご参考まで。

① 残したトップページのスライダー画像@PC →こだわりがありました。
② 捨てたスライダー画像@スマホ →スマホでスライダー画像を見るとごちゃごちゃ感あり。
③ 残した CoreSSL 認証シール@PC →第三者による SSL 認証アピールなので。
④ 捨てたトップページの SNS ボタン →投稿記事、固定ページにあるから不要

スライダー画像や CoreSSL 認証シールの正体は**「javascript」**でして
爆速化の足を引っ張り続け、GTmetrix や Page Speed Insights から
最後までしぶとく問題指摘されました。

SNS ボタンも削除するだけで軽量化→高速化に寄与しますので
必要性を考えて是非お試しあれ。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

爆速化手順５：テーマ固有の高速化施策

ワードプレステーマによっては、専用の高速化施策（ツールなど）が
個別に提供されているケースもあります。

ここでは著者のワードプレステーマ WING(AFFINGER5EX)に関して
テーマ購入者のみに有料で紹介されている専用プラグイン：**LasyLoad SEO**
を例にとり上げて説明します。
（AFFINGER 以外のテーマではご利用になれません。）

LasyLoad SEO プラグイン

本プラグインは、**画像と iframe 遅延読み込み**を行うためのもので
他の LasyLoad 用プラグインなどとの違いは名称にある通り**「SEO」**部分にあります。

その前に、「**画像と iframe 遅延読み込み**」ってなに？
なんの意味があるの？
と思われる方が多いと想像しています。

通常のワードプレスサイトでは通常、表示するページにある画像を
全部読みこんでから表示します。（読込み時間がかかる分、遅くなります）

LazyLoad（遅延読込）では、最初の表示に必要な画像のみを取得して
表示を優先します。その後にスクロールに応じて随時画像を読み込んでいきます。

ということにより LazyLoad 機能によって、画像の数などに依存しますが
そのページの表示速度がうんと変わってきます。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

Page Speed Insights でも画像などが多いと
「LazyLoad したらどう？」と
問題に対するアドバイスが出てくるほどに重要な機能なんですね。

ただし、LazyLoad は SEO 的に不利になるともちょくちょく言われております。

これは、一般の LazyLoad は画像がスクロールされるまで表示されないため、
Google ロボットとしては「画像が無い」と判断されるからなんですね。

LazyLoad SEO は、遅延読込しつつ画像の有り無しを Google ロボットに認識させることができ、この点が差別化要素になります。
（<noscript>を付与することにより実現しています。）

もうひとつの特徴は iframe にも対応しているため、
YouTube 動画をたくさん使っているページにも効くという点です。

LazyLoad SEO の設定方法はここでは省略しますが
利用の際は、デフォルトで全てのページに適用すると設定しておき
個々の投稿記事、固定ページの編集画面で遅延読込を停止する
こともできて非常に便利です。

もう一点、**LazyLoad SEO と WP Fastest Cache（有料版）**
との関係で補足したいことがあります。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

WP Fastest Cache（有料版）の設定タブの項目のうち
一番下の行には Lazy Load も載っています。

つまり、キャッシュ系プラグインとしてもこの機能を重視している証拠になります。

ご利用のワードプレステーマが **AFFINGER でない場合**は
素直にチェックを入れておくことをお勧めします。

WP Fastest Cache（有料版）の遅延読込も記載されている説明によると
画像と iframe に対応できています。
（ただし SEO 上の配慮はされていないようです。）

また **AFFINGER テーマを利用し且つ、LazyLoad SEO を利用の場合**は
WP Fastest Cache の Lasy Load のチェックは
外しておいたほうが無難かと思われます。
（ただし著者のサイトで実験を繰り返した結果においては、
チェックの有無に限らず悪影響は見られませんでした。）

Copyrights KENBO All Rights Reserved

爆速化手順６：「もっと速く」を目指す CDN

爆速化手順の最後となるこの話は、**中級～上級者向けの施策**になります。

ワードプレスやサーバーについて技術的にも十分な知識とスキルが
ある方に向けたややマニアックな話であり、もちろん**必須ではありません。**

まだまだやるぜ！

とスキルと意気込みがある方は挑戦してみてください。
それ以外の方はあくまでご参考まで。

著者のワードプレスサイトでは、本資料作成時点において CDN を活用しておりません。
その一番の理由は、今のところそこまでやる意味があまりなさそうだと判断したからです。

CDN を活用すれば確実に、GTmetrix の Yslow Score はアップするのですが
ネームサーバーなどの変更を行う必要もあり、本資料で謳う
「初心者も即日 99 点」という方針から外れてしまいます。
（しかもネームサーバー変更による手順を知らないとパニックになるリスクが出てきます。）

ここでは XSERVER に問合せして確認できたことも含めて
CDN のおおまかな話をまとめています。
（CDN は XSERVER にとって、外部サービスなので本来関係の無いことですが
相談したところ電話・メールでコッソリ教えてくれたことをまとめています。）

他の施策をやりつくした後、残るのは CDN くらいだと考えております。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

CDN ってなに？

CDN とは Content Delivery Network の略です。

難しい言い方はやめて簡単に表現すると
「利用しているサーバーの負荷を肩代わりしてくれるレンタルサーバーのようなもの」
です。

キャッシュ機能にも大きく関係するため、この話を持ち出しているのですが
サーバー負荷の肩代わりが本来の主旨となります。

例えば XSERVER の最も低価格プラン X10 では
1 日の転送量目安が 70GB と制限されています。

1 日 70GB を超えるアクセスのあるサイト運営者は、プランを切り替えるか
CDN を活用するなどの判断が必須になってきます。

CDN は実はかなり身近な存在としてあちこち使われていまして
例えばスマホのバージョンアップとか Windows アップデートとか
天気予報やニュース配信サイトなんかでバリバリ活用されています。

一斉に大量のデータを届けるために一気にサーバー負荷が大きくなるのですが
その軽減策として普通にどこでも CDN が使われているのが現代です。

この CDN ですが・・・
キャッシュサーバー機能により、極めて大きなメリットもあれば
実は知らないで使うにはちょっと怖いリスクも存在しています。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

例えば誰かが xxx.com のホームページを見たいと URL を指定すると
CDN キャッシュサーバーは xxx.com を提供しているサーバーから
最初はデータを取りにいきます。

次からのアクセスでは、キャッシュサーバーに「キャッシュされている状況」なので
もともとの提供サーバーへアクセスしません。

この、もともとの提供サーバーへアクセスしないがために負荷が減るという理屈です。
（実際にはアクセスする回数が減るということです）

このことで表示速度爆速化に CDN が大きく寄与するのです。

一方で、CDN の扱い方を知らずによくある話として
いわゆる**キャッシュ事故のリスク**がやり玉によく挙がります。

CDN キャッシュサーバーに一定時間キャッシュデータが残るということにより
例えば A さんが自分の個人情報をアクセス後、今度は B さんがたまたま
キャッシュデータが CDN キャッシュサーバーに残っている時間中に
同じページをアクセスすると A さんの個人情報が見えたりするわけです。

他にもアドセンス広告の収益が減った報告もネットで散見されています。

もちろん CDN サービス会社もこういった点を十分承知しており
リスク回避のために各種の事前設定や対策なども為されているわけですが・・・

爆速化のためだけを考えるとメリットが大きいものの、
仕組み、リスクとリスク回避策を十分理解してから導入しましょう。

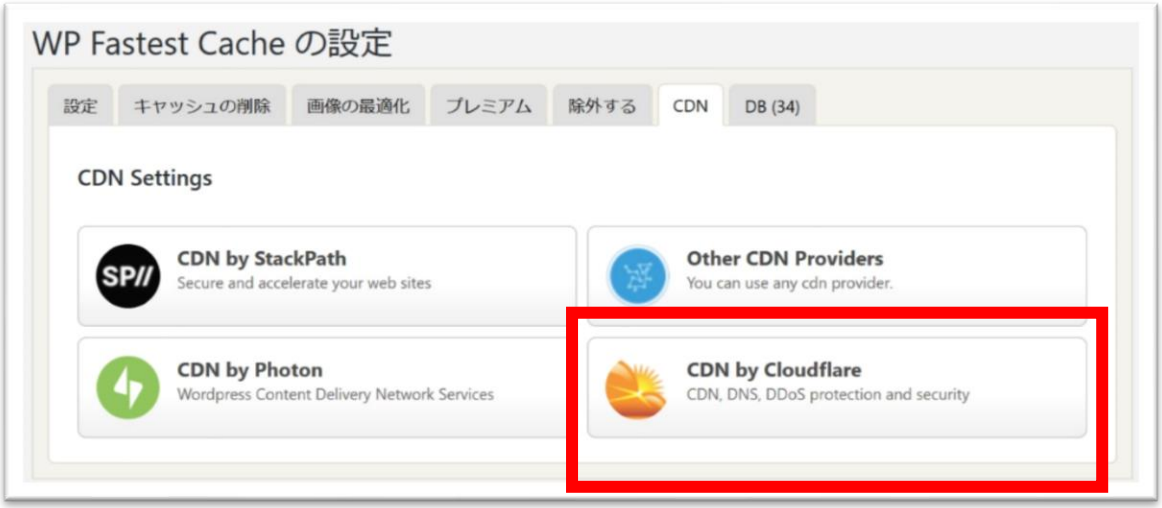
と言いつつせっかくなのでもう少し CDN について補足します。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

CloudFlare

CloudFlare は、何といっても**「無料で CDN を利用できる」**
のが最大の魅力であり、とても有名な CDN サービスです。

CDN について話を続けているわけは、先にご紹介した
キャッシュ系プラグインである WP Fastest Cache にも登場しているからです。
下図に 4 種類も紹介されています。
（なお無料版でも利用できます）



先ほど述べた通り、CDN についての理解不十分なまま
クリックしてどんどん進めると大変なことになるかもしれないので
よくよく注意してくださいね。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

XSERVER で CloudFlare 活用時の Tips

CloudFlare は、XSERVER 利用者にも多くいるようでして
以下は XSERVER に直接問合せし確認した内容となります。

あくまでご参考ということで。。。
（意味がわからない場合はこのままスルーしてくださいませ。）

CloudFlare 側の SSL 設定について

以下は CloudFlare に申し込み、設定時のポイントです。

「Full」以外に設定されている状態の場合、
リダイレクトループが発生する要因となり得る可能性がある。

例えば「Flexible SSL」など他の設定のまま、Xserver 側で独自 SSL
設定を行った場合、リダイレクトループとなることがある。

設定を変更した場合は、**CloudFlare 側のキャッシュをクリア**して
動作の確認をすること。

このあたりを注意事項としてコメントもらいました。

もう一つありまして・・・

Copyrights KENBO All Rights Reserved

ダッシュボードに入れない！を解決する

爆速化手順説明もいよいよ最後になりました。

万一、CloudFlare なり他の CDN でも何気に使い始めると
たぶん真っ青になるかもしれない話です。

「ワードプレスダッシュボードにアクセスしたら
**　404 エラーが出て入れなくなった！！！」**
とか真っ白になるなど症状いろいろのようですが・・・

この原因ですが CDN は基本、**海外のサービス**なのですね。
そして CDN を一旦使い始めるということは、ダッシュボードへのアクセスを含めて
すべてのアクセスが CDN 経由となるということです。

XSERVER を利用していても、アクセスはダイレクトに XSERVER ではなく
あくまで CDN を経由して XSERVER を利用することになります。

そして XSERVER の場合、
国外 IP からのダッシュボードアクセスはデフォルトでは制限
されているのです。
なんといってもスパムなどの攻撃は圧倒的に海外からが多いので
一種の自衛措置なわけです。

つまり、自分のアクセスも含めて国外 IP からと判断され
遮断されてしまうので、それを解除する必要があります。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

その手順としては、XSERVER の「サーバーパネル」にまずログイン。

次に左下のほうにある、次のような WordPress セキュリティ設定をクリックします。

すると、「ドメイン選択画面」が表示されます。
ここで変更したいドメインの「選択する」リンクをクリックしてください。

言うまでもなく選択するドメインとは、あなたのワードプレスサイト設置ドメインであり
且つ CloudFlare でアクセスしたいドメインのことです。

クリックすると当該ドメインに対して
WordPress セキュリティ設定画面が開くので
ここで「国外 IP アクセス制限設定」タブを選択します。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

デフォルトでは、上の図のようにダッシュボードアクセス制限が「ON」になっているので
これを「OFF」にすることでダッシュボードアクセスは可能になります。

はい、お疲れ様でした。
以上で爆速化手順全ての話が終了となります。

CDN を使わずとも、かなりいい線で合格ラインに
達していることを祈念しています。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

あとがき

いやぁ・・・

ワードプレスサイト爆速化について自分の理解していること、経験・検証したことを
いざ書き出してみると相応のボリュームになりました。

それでもよくありがちな、細かすぎる設定手順や
用語の細かい意味説明なんぞはできるだけ省略したつもりです。

本資料をご覧になって簡単どころか
面倒くせー！と思われたかもしれません。

ただ著者の知りうる限り、現状では最もシンプルな方法であり
また最後に述べた CDN を含めて
より爆速化を信奉する方の要求までカバーしたつもりです。

最後になりますが念のため以下の注意書きをご確認ください。

【著作権と注意事項】

本資料は著作権法で保護されている著作物です。
著作権者の許可なく、本資料の全部又は一部を
複製、転載、流用、転売等はご遠慮ください。

また本書は著者の見解によって作成しており、
いかなる内容も保証するものではありません。
内容については自己責任のもとでご対応お願いします。

本資料が、あなたのワードプレスサイト爆速化の
お手伝いに少しでもなれると幸いです。

Copyrights KENBO All Rights Reserved

著者のご挨拶

あってもなくてもいいようなものですが、せっかくなので
著者（KENBO）の簡単な自己紹介をさせていただきます。

「気づきが稼ぎになる」をモットーに、本資料でご紹介したサイト運営を
2013 年からしこしこと続けており、主にコンテンツビジネスに関わっております。

筆者（KENBO）の主なコンテンツ

>> 無敵思考
>> アメルールの秘密(amazon kindle)

他多数のコンテンツ商品、無料レポートあり。

筆者（KENBO）の”異端メルマガ”

◎わけのわからないインフォビジネスを「ウソなし」でお伝えしていくこと。
◎キレイごとは言わない
ことをポリシーとして配信は不定期です。

なにかと得してもらう、稼いでもらう企画やプレゼントは
全て**メルマガ読者様優先**という方針でお伝えしています。

ご興味ある方はご登録をどうぞ！（いつでも解除できます）
>> **KENBO の異端メルマガ**

KENBO のブログと連絡先
https://www.ifrv.net/
info@ifrv.net

Copyrights KENBO All Rights Reserved

Copyrights KENBO All Rights Reserved